

事務局からのお知らせ

● 事業実施状況報告(10月末)

		令和5年	令和6年
会員数(人)	男	1,324	1,306
	女	491	490
	計	1,815	1,796
就業実人員(人)※		1,517	1,470
就業率(%)		83.6	81.8
受注件数	公共	48	46
	民間	2,590	2,482
	派遣	37	59
請負契約金額(千円)		457,481	434,590
派遣契約金額(千円)		83,938	85,494

※「就業実人員」数は、請負契約及び派遣契約の就業会員の合算数値になります。

● 事務局からお願い

● 冬場の事故、ケガの防止に 努めてください!



毎年、1月～3月の期間に、就業中や就業途上に発生する事故が多くなる傾向にあります。

寒くなると、体の動きが鈍くなり、事故につながることもあります。

また、雪が降ると転倒事故によるケガや、骨折が多く発生します。雪が降った翌日は、路面が凍結して滑りやすくなっていますので、不要不急の外出は控えるようにしましょう。

● 健康管理にご留意ください

センターへの健康診断書(写)の提出は不要となりましたが、健康で元気に就業が続けられるよう、年1回の健康診断を受診し、ご自身の健康状態の確認をしてください。



編集後記

▷ 令和6年は、元旦に発生した能登半島大地震及び追いつけをかけた能登半島地方の大洪水・土砂崩れ、東北地方の大洪水・土砂崩れ等の自然災害が頻発した一年でした。また、軟弱地盤が原因となった新たなビル倒壊災害も発生しており、居住地域の再確認も

必要となっています。
令和7年は自然災害が減少して穏やかな年になることを祈念しています。また、巳年は脱皮をすることから「復活と再生」を意味する年、被災各地が復興して再生することを願っています。【広報部会S】

■ 配分金支払日

- 12月分 …… 1月27日(月)
- 1月分 …… 2月25日(火)
- 2月分 …… 3月25日(火)

※毎月の配分金明細書が必要な方は、事務局へご連絡の上、窓口までお越しいただくか、smile to smileからご確認ください。

ゆずりはクイズ Part 62

- Q1. 清掃ボランティア活動を実施した場所はどこ?
- Q2. フレイルを予防するための3つの要素は、①週1回以上の運動、②栄養、もう1つは何?
- Q3. 11月18日と21日に開催された除草班全体会議の目的は何?

☆ヒント：2面、3面、4面をご覧ください。

◎ 答をハガキ又は、メールに記載して事務局に送ってください。メールアドレス：kashiwa@sjc.ne.jp
メールの場合は、件名に「ゆずりはクイズ」と入力してください。

締め切りは**2月14日(金)**までです。正解者の中から、抽選で素敵な品を差し上げます。
会員番号と氏名を忘れずに書いてください。

◎ ゆずりはクイズ Part61の正解

Q1の答：11月から

Q2の答：ツールボックスミーティング(TBM)

Q3の答：就業条件の明示

応募数10通
うち正解者数
8通でした。

センターからのお知らせが ショートメッセージで送信されます!

皆さんがお持ちの携帯電話(スマートフォン・ガラケー)に、センターから様々なお知らせが届きます。NTTdocomo、au、楽天モバイルの方は、「050-5491-4105」の番号から、Softbank、Y! mobileの方は、「242244」の番号からメッセージが届きますので、着信後必ずご確認ください

ゆずりは

第134号

編集・発行 令和7年1月20日

公益社団法人 柏市シルバー人材センター

〒277-0004 千葉県柏市柏下66-1

柏市保健勤労会館2階

TEL 04-7166-6681 FAX 04-7163-4150

URL <http://kashiwa-sjc.or.jp>

メール kashiwa@sjc.ne.jp



目次

- 2P 会長挨拶 / 柏市長挨拶 / 清掃ボランティア活動 / 新入職員紹介
- 3P セカンドキャリア応援セミナー / 植木班会議 / 除草班会議
- 4P 近隣センター班会議 / パソコン班会議 / 除草班全体会議
- 5P シルバーの顔 / smile to smile 登録支援 / クリーンスタッフ講習会
- 6P シルバー学び隊「和おどりの会」 / 安全研修会
安全だより
- 7P 女性会員の就業体験談 / 女性交流会 / SG会
- 8P 事務所からのお知らせ / 編集後記



大西 保子さん
P5をご覧ください!!

会長挨拶

会長
田口 幸子



明けましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年は、酷暑が長く続き、皆様には安全就業のため、健康管理等に気を配られたことと思います。いつまでも元気に活躍していただくためには、安全就業の確保がなにより大切です。平素より、バランスの取れた食生活や適度な運動を心掛けていただき、健康を維持していただくようお願いいたします。
本年は、フリーランス新法に適切に対応していくため、昨年に引き続き、デジタル化を推進して参ります。smile to smileに登録していただくことで、就業情報・配分金の確認等がスマートフォンやパソコンでご覧いただけるようになりますので、是非ご活用ください。
会員の皆様には、本年もシルバー事業の推進に、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

柏市長挨拶

柏市長
太田 和美



新年明けましておめでとうございます。
柏市長の太田和美です。
柏市シルバー人材センター会員の皆様におかれましては、幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より柏市政に多大なるご協力とご理解をいただき、厚くお礼申し上げます。
少子高齢化が加速する中、人生100年時代を迎え、誰もが生涯現役で活躍できる社会の実現が求められています。このような中、高齢社会を支える地域の中核的な組織として、シルバー人材センターには大変重要な役割を担っていただいております。
市といたしましても、高齢者の方をはじめ、どのライフステージにある人も希望をもって過ごせるまち、人々が安心感、充実感、満足感を得ながら暮らせるまちとなるよう施策を進めてまいります。
会員の皆様には、それぞれの知識や経験を活かして、日常生活に密着した就業を通じ、地域のため、市民のために引き続きご支援いただくとともに、ご自身の生きがいややりがいに繋げていただけたらと思います。
結びになりますが、会員の皆様のご健勝とご多幸、柏市シルバー人材センターの益々のご発展を心から祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

● 清掃ボランティア活動報告

令和6年11月15日理事会終了後、役員による清掃ボランティア活動を柏ふるさと公園で実施しました。
当センターの地域社会への貢献と、地域住民、高齢者の方たちに知っていただくための普及啓発も併せた活動となります。これからも、毎月第3金曜日の午後15時から活動をしていきます(冬季:1月~3月、夏季:7月~9



月は除く)。
会員の方と一緒に活動したい方は、事務局(担当:川口)までご連絡ください。

● 新入職員紹介

駐輪場巡回員

うつぎ たかし
宇津木 孝



駐輪場巡回員の張ヶ谷さんが退職されました。お疲れ様でした。

● セカンドキャリア応援セミナー開催

10月3日ラコルタ柏にて、セカンドキャリア応援セミナーが開催されました。主催は柏市生涯現役促進協議会で、共催として松戸公共職業安定所、柏市社会福祉協議会、柏市シルバー人材センターが参加し、東京大学未来ビジョン研究センターの協力で実施されました。

今回は、「介護サポート」「保育補助」の仕事に焦点を当てたセミナーでした。参加者は男性7名、女性23名の計30名と盛況でした。午前中は、シニアが働くことのメリットについて東京都健康長寿医療センター研究所副所長の藤原佳典氏から「シニア



● 植木班定例会議開催

10月31日、センター大会議室で植木班会議が開催されました。会議には、稗島班長をはじめ会員10名と事務局が参加しました。

最初に、事務局からの連絡事項がありました。①植木班希望の会員2名の面接を実施、②事故・苦情・ヒヤリハットについては、本センターは0件だが、全国のシルバーセンターでは数件発生している。休憩前、三脚を降りる際に5段目を踏み外し転落した事故や、安全帯を外していたため腰椎を圧迫骨折した事故。切り枝などを積むトラックに上がって作業中にバランスを崩して転落し、大腿骨を骨折した事故等の報告があり、寒くなる時期は体が動きづらくなるので十分注意して作業をして欲しいとのことでした。

● 除草班会議開催

10月4日、除草班会議がセンターの大会議室にて開催されました。今回会議は、除草班皆さんの意見交換や、安全に係る情報共有を図るため、開催しました。

会議の議題は、①安全就業について、②作業日程の管理についての2点でした。石田班長から実際に発生した事故事例を踏まえたあいさつがあり、その後議題に入りました。

安全就業については、刈払機の事故が増加していること、その対策として刈払機使用時の飛散防止ネットの重要性について、事務局から説明がありました。刈払機の事故は、賠償額が大きくなるケースが多く、ケガのリスクも高いので、作業する際



が働く、三方良しの地域づくり]について講演があり、加齢により生ずるフレイル(虚弱)状態を予防するには、①週1回以上の運動、②栄養、③月1回以上の社会活動が大切で、3つの要素を実践するとフレイルになるリスクが半減すること。また、福祉関係で就労することは高齢者自身のためになり、雇用する側やそこで働く現役世代の役に立ち、かつ世代間交流も生まれるとともに、地域社会にも貢献できる「三方良し型労働」だと強調されました。近所で長く働くのがポイント。資格や経験がなくとも参加できる介護助手や保育補助は、福祉領域とシニア世代を結びつけた働き方と言えます。講演の後、各共催団体がテーマに応じた仕事を紹介し、午後は介護サポート分科会が行われました。

次に、米村副班長より定例確認事項として班毎の直近の受注可能件数を確認。続いて、植木班定例講習会の案内がされました。実施日は、令和7年2月12日(水)10:00~13:00。場所は、松戸市六実で梨を生産する野口農園。技術・技能の向上と連帯意識の醸成を目的として、Aランクの方々が各班のメンバーに指導する内容です。

懸案事項だったランク条件の改案討議については、就業開拓部会からの回答に基づき、稗島班長を中心に大変活発な議論となりました。今後の植木班の就業形態を見直す内容でもあるため、継続して検討し、理解を求めていくこととなりました。



には、十分注意してください。

次に、夏季の猛暑日が続く期間の作業方法について、事務局から、他市センターを参考に提案があり、参加者からは、午前中で作業を終わらせる方法や、休憩をこまめにとることも重要等、様々な意見が出されました。石田班長からは、各班の班長に対し、班員の体調を確認しながら、作業を行うようにと指示がありました。

作業日程の管理では、作業依頼者から作業日の問い合わせが事務局に多く寄せられていて、除草班から作業予定日の連絡が無いと、依頼者への回答が出来ない状況にあります。依頼者への対応がスムーズに行えるよう、各班で作業予定表の作成と事務局への提出について協力依頼がありました。

除草班と事務局が協力し合い、事故防止への取り組みと依頼者へのサービスの向上に努めていきたいと思います。

● 近隣センター班会議開催

10月21日、第1回近隣センター班会議がセンター大会議室で開催されました。出席者は、各近隣センターの連絡員23名と、柏市役所から宇内氏、柏市シルバー人材センターからは6名が参加しました。

初めに杉岡理事から、より良いサービスを提供し就業員同士のコミュニケーションを活発にするために、新たに職群班として近隣センター班が設置されたことを説明。



続いて、班長に永楽台近隣センターの漆原会員、副班長に豊四季台近隣センター体育館で就業する安西会員が選任されました。漆原新班長

● パソコン班会議開催

10月8日大会議室において、パソコン会議が開催されました。参加者は林班長、日野副班長を含め班員8名と事務局の9名でした。

会議は、日野副班長の司会進行で行われ、パソコン班受注一覧表に基づいて、それぞれを担当されたメンバーからその依頼内容や、対応策などについて報告があり、その報告内容について、各メンバーから質問がありました。

依頼内容の傾向としては、Windowsのバージョンアップや、高齢でパソコン初心者の依頼も多くあります。

また、新たな依頼として、パソコンを使った会議やミーティングに参加する方法などの依頼もあり、内容

● 除草班全体会議開催

刈払機による傷害事故が発生したことから、11月18日、21日の2回に分けて、除草班全員を対象とした全体会議が開催されました。

本会議は、会員一人ひとりの安全への意識向上と意識改革を目的に行われました。

最初に、寺田安全委員長から、刈払機事故の発生状況と当事者意識を持つ大切さ等について、話がありました。

次に、事務局の安全担当職員から事故の状況報告、除草作業の安全就業基準の周知、刈払機の正しい使い方、飛散防止ネットの取り扱いについて話があり、飛散防止ネットを設置する人件費も含めた見積を行ってから、作業を受注するよう説明がありました。

続いて、事務局より土、日、祝日の除草作業は中止すること。安全対策を講じてい



は、情報の共有化と業務の標準化を図っていきたいと挨拶しました。

就業に関する具体的な疑問や問題点については、事前のアンケートを基に事務局が議事を進行。中でも要望が多かった、カスタマーハラスメントへの対応は後日研修を実施する予定。また、就業会員からの突発的あるいは長期の休みの希望があった場合は、相談の上で早番と遅番で各6.5時間勤務する2交代制が提案されました。その他、つり銭硬貨が不足した場合の対応や、災害発生時に就業が当たった場合の対応はどのようにしたら良いのかなど、普段抱えている様々な問題について、大変活発な意見が交わされ、有意義な初会議となりました。

は多岐にわたります。

パソコン班の皆さんは、「親切」「丁寧」「安心」をいつも心掛け、依頼された方にも大変喜ばれています。パソコンの訪問支援については、広報かしわへの掲載や、チラシなどを配布してPR活動も行なっています。パソコン訪問支援を利用するきっかけとなった方は、広報かしわを見て依頼された方も多いようですが、利用された方の口コミや、会員から紹介されたケースもあります。会員の皆さんもパソコンにお困りの方がお近くにいらしたら、シルバー人材センターをご紹介ください。



ない事故の場合は、シルバー保険の対象外となることがあることや、作業予定表の作成と提出依頼がありました。

また、除草班皆さんの意識が変わらなければ、事故は防げない。事故が減少しなければ、除草作業からの撤退も検討しなければならないと非常に重要な話があり、参加者は真剣な表情で話を聞いていました。

最後に、刈払機使用時の注意点、防護服等の着用、安全に作業する方法等の動画を視聴し、閉会となりました。

事故は、当事者や被害者、その家族まで多くの人が苦しみ、悲しい思いをします。

「安全はすべてに優先する」ことを十分に理解し、事故を起こさないためにはどのようにしたら良いのかを一人ひとりが真剣に考えて、安全就業に努めてもらうことを切に願います。



● 若い時代の思い出

大西さんは今でも多方面で活躍されていますが、一番記憶に残っているのは、大学生時代に天文同好会に入り、カメラと望遠鏡をもって駆け巡っていたことだそうで、現在も趣味として続いています。大学卒業後は化学製品会社に入社し、配属された特許部では、特許関係の難しい仕事にチャレンジしていました。

● シルバーでの仕事

ご主人と結婚後は、特に仕事はしていませんでしたが、柏市のパソコン講座にボランティアで携わり、パソコンの知識の習得を続けました。ある時、知人からシルバー人材センターの話聞き、訪問したのが入会のきっかけです。入会后、3年間はスーパーで総菜づくり携わり、次の約2年間は介護施設で高齢者向けの朝食作りと、初めての経験と新しい人との交流があり、とても楽しく働けたとのこと。その後パソコン班の活動を知り、パソコン班に所属し、現在に至っています。パソコン訪問支援が一番嬉しい時は、今までの体験を活用出来ることと、実務をしながら新しい知識を習得出来ることです。依頼者の所に伺った際は、「来た方が女性で良かった」と喜ばれることも多く、とても嬉しい気持ちになり、やりがいを感じます。



大西 保子さん
おにし やすこ



タヒ子 (ハオ島)の皆既日食

● 好きだったことがどんどん膨らんでいます

自宅では動画編集ソフトを使い動画の編集を行い、その他にもバドミントンやウォーキングも楽しんでいます。小さい頃から空を眺めるのも好きで、現在も天体観測には興味を持ち、世界各地で見られる皆既日食ツアーに参加しているようです。エジプトやパナマなど皆既日食ツアーに参加され、昨年4月には、メキシコへのツアーにも参加されたそうです。大学時代の同好会で知り合ったご主人も気象関係に勤務されていたそうで、時には夫婦揃って手賀沼での天体ショーを見て、昔を思い出しているそうです。11年後には、関東地方でも日食が観測できるようで、この日に思いをはせながら夢が膨らんでいます。

● smile to smile の登録支援が開始！

11月から毎月第1・第3水曜日の午前9時から正午の時間帯で、smile to smileの登録支援が始まりました。

当日は、事前に予約された方が次々に来場され、パソコン班の会員が相談者一人ひとりに親切、丁寧な登録支援を行っていました。登録支援を利用された方からは、「自分で登録するのは難しく、教えてもらいながら登録手続きをしたら、思っていた以上に簡単にできました。すごく便利なので、これから活用したい。」「息子

に登録してもらったが、自分で活用する方法が分からず不安でした。支援してもらい、不安が解消されました。」「smile to smileの活用方法、求人募集への応募方法を教えてほしい。」などのお声をいただきました。

登録方法が分からない方や活用方法を知りたい方は、ぜひこの登録支援を利用してsmile to smileを登録して活用しましょう！



● 「施設クリーンスタッフ講習」実施

11月13日「施設クリーンスタッフ講習」が開催されました。この講習会は、千葉県シルバーセンター連合会が主催で、男性5名、女性2名、計7名が参加されました。

最初に清掃作業のポイントについてDVDを視聴し、その後、用意されたテキスト「清掃の手引き」をもとに清掃技術や注意点、自分の安全確保とお客さまの安全確保について、わかりやすい説明がありました。

続いて、実技講習に移り、①洗剤の種類と特徴を知る、②トイレ、洗面台の清掃、③ガラスの拭き掃除、④スクイジー、タオルの使い方等について作業をしながら進められました。

この講習会は座学中心ではなく、受講者が実際に作業を行い、そのコツを学ぶことを重点に構成されています。受講者は、初めて参加された方が多く、家庭内の清掃

とビルや施設内の清掃の違いを感じながら、施設内での清掃では、「重点」と「コツ」の他に、「作業効率」も考え、依頼者の職場状況によって何が求められているのか理解することと、コミュニケーションの重要性についても多くを学ぶことが出来たと思います。

トイレ清掃では、何を重点的に清掃するのか。その他、ガラス拭き掃除のポイント、ほうきやモップの使い方など、講師の実演のあと受講者一人ひとりが掃除用具を使って、実技講習が行われ、慣れない作業に戸惑いながらも終了する頃には、目からうろこと思える体験をしていたようです。

最後に受講証が手渡され終了しました。受講者の今後の就業に役立つ、内容の充実した講習会となりました。



● シルバー学び隊「和おどりの会」

会員が培った知識や経験を活かし、自らが講師となつて行うシルバー学び隊事業の「和おどりの会」が、10月15日に富里近隣センターで行われました。和おどりの会は毎月2回開催され、取材当日は、この会の代表を務める下総艶子会員を含め、14名の方が参加しました。

下総さんは、「盆踊りは誰でも参加できて、輪になって踊るだけで、覚えることができる。体にも頭にも良い運動になります」と笑顔で話されていました。

また、参加者からは、毎月皆に合うことが楽しみ。パソコンで動画を見て、指先、足先の動きを勉強しています。

踊りも休憩時間の会話も楽しく、毎回あっという間に終わってしまい、友達が出来ましたとの話がありました。

代表の下総さんからは、地域の夏祭りですれぞれが盆踊りを楽しんでいます、この会のメンバーが揃って踊れる機会がないのが残念。これからもみんなで楽しく、踊りを続けていきたいとのこと。

初心者の方も大歓迎！参加者も大募集していますので、一緒に踊ってみたい方は、事務局(担当:和田)までご連絡ください。



● 安全研修会開催

12月17日、安全研修会がセンター大会議室で開催されました。会員の安全確保のために継続的に実施されている研修会です。講師は、安全委員会の寺田委員長が務め、2名の会員が参加されました。4月から11月末までに起きた就業中の事故が22件、寒い季節を迎えてより一層の注意喚起が必要です。

初めに安全に関するDVDを視聴。今回は、安全を確認するためにKYT(危険予知訓練)と指差し呼称のやり方、1人KYTについて体験的に学びました。

まず、高い窓での清掃作業のイラストを例に①どんな危険が潜んでいるか(現状把握)、②これが危険のポイント(本質の追求)、③あなたならどうする(対策の

選択)、④私たちはこうする(目標設定)と、順を追って意見を出し合いました。最後に確認のための指差し呼称の正しいやり方を実践。左手は腰に、右手はグーを握んだ後に人差し指を出し、一度腕を耳もとまで上げて目標に向かって指差し、「ヨシ！」と声を出します。1人KYTは就業場所での危険なポイントと解決策を考える方法で、参加者それぞれの体験を基に寺田講師がアドバイスをを行いました。就業先だけでなく、路上や家庭内でも危険は潜んでいるものです。KYTの考え方や指差し呼称を身につけて、事故を未然に防ぎましょう。ご安全に！



安全だより

安全委員会委員長

今年度は、就業中の事故が増加しています。特に、除草作業で使用する刈払機の事故が多発しています！

刈払機で作業をしていた会員の近くで草を抜いていた会員が転倒し、刈払機で左腕を切ってしまう傷害事故や、飛び石による飛散事故により136万円となる多額の賠償事故が発生しています。

刈払機で作業していると機械のエンジン音で周囲の音が聞こえにくい状況になり、視野も刈払機の刃の動きに集中するため、狭くなります。作業中も時々、周囲を確認しながら作業を進めることが重要になります。

除草作業の事故に限らず、このまま事故が増え続けるとシルバー保険の保険料も増加し、センターの事業運営にも影響が出ます。場合によっては、賠償額の一部を事故を起こした会員に負担していただくことも検討しなくてはなりません。

事故を未然に防ぐためにも、作業環境の整備、作業前のミーティングによる情報共有等を行い、安全就業基準の遵守を徹底して会員一人ひとりが事故防

止・安全就業に努めてください！



■ 事故発生状況

発生月	事故の内容	傷害・賠償額等
4月	清掃作業中の物を壊した	44,000円
	帰宅途中に膝を痛めた	通院27日
5月	刈払機による飛び石で車のガラスを破損	1,368,301円
	剪定作業中にアンテナケーブル切断	12,918円
	刈払機による飛び石で車のガラスを破損	365,339円
	刈払機による飛び石で車のガラスを破損	414,051円
6月	清掃作業中に腰を痛めた	通院1日
	就業中に足を滑らせ転倒。足首を骨折	対応中
6月	剪定作業中に転落。脇腹と背中を打撲	通院4日
7月	駐輪してある自転車を出庫させた際に、自転車のリムを傷つけた	149,380円
8月	就業中に転倒。左胸を骨折	通院1日
	ハンドミキサーの清掃中、指を切った	通院1日
	駐車場で車両の案内をした際に、車の天井が傷ついた	対応中
	駐輪場で自転車整理中に腰を痛めた	対応中
9月	刈払機で水道管を破損	49,500円
	刈払機による飛び石で車のガラスを破損	対応中
10月	就業中に階段を踏み外して転落。骨折	対応中



「就業している女性会員さんに聞いてみました」 ♪ 働くって楽しい♪

女性会員の就業体験をお届けしています。皆さんの参考としていただければ幸いです。

- 内 仕事の内容
- 苦 苦勞したこと
- 始 仕事を始めるのに不安だったこと
- 楽 楽しいと思うこと
- 慣 慣れるのに要した期間
- 続 就勞期間、継続するためのポイント

🏠 職種: 子育て支援サービス (Kさん)

- 内 小学校の子供ルームで、部屋やトイレの掃除や子供達の遊びの見守りをしています。子供達と一緒に、折り紙や縄跳び等で遊ぶこともあります。
- 苦 猛暑の中、グラウンドで子供の外遊びの見守り(約30分)をする時は、少し辛いと感じることがあります。
- 始 低学年の子供達と接するのは久しぶりなので、最初はどのように接したら良いのか分かりませんでした。

- 楽 子供が好きなので楽しいことばかりです。子供達の飾り気のない素直な言葉で癒されることもあります。
- 慣 子育て経験者なので、慣れるのに時間はかかりませんでした。
- 続 週に2回、15時30分から18時30分の3時間です。適度に体を動かす仕事なので健康にも良く、子供達から元気をもらい自分も笑顔で仕事ができるので、これからも続けたいと思っています。

● 女性会員交流会開催

10月29日、パレット柏にて女性会員交流会が開催されました。コロナの影響もあり、4年半ぶりの開催となります。今回は、会員歴が比較的浅い会員を対象に案内を行います。出席者は9名。その他、飯島女性部会長をはじめとした女性部会員4名と田口会長、事務局が参加しました。

会長挨拶に続き、まずは体をリラックスとすることで、藤野久子講師による「かんたんストレッチヨガ」を20分行いました。椅子に座り、ゆったりとした音楽に合わせて無理なく体を動かし、体と気持ちもほぐれた



ところで意見交換会に移りました。

現在、柏市シルバー人材センターの会員1,811人の中で女性は493人(10月18日現在)、男性7:女性3と女性会員は少数派です。自己紹介を兼ねながら、仕事についての考えを話し合いました。参加者は年齢も生活環境も様々で、すでに幼稚園での清掃や施設の配膳などに就業している方、これからという方もいました。体が動く限りは挑戦してみたいという力強い発言があり、この前向きな思いは皆さん共通でした。本音も交えて活発な意見が飛び交い、充実したひと時になりました。



● 第36回SG会開催

10月21日、成田フェアフィールドゴルフクラブにて、初参加1名を含め15名で開催した。本コースでの開催は7回目となります。美しいフラットな地形、大きな池のレイアウト、木々、芝の緑も美しく、500ヤード超のロングホールや400ヤード程度のミドルホールなど、打ちがいがあるのが好評。天候は曇り、微風、集合ミーティングで競技説明の後、コースを背景に全員写真を撮影。白ティーマークからスタート、皆まだまだ筋力は衰えていない様子だが、距離が長いホールはパーオンするのが容易ではなく、好スコアには繋がりにくい。グロス100を切ったのは4人だった。入浴後は恒例の

表彰式。優勝は、「ハンディキャップに恵まれ、メンバーにアドバイスを頂いた」と語りつつも、ベストスコアも獲得した外岡清会員。入賞や順位賞、BG、BB、DC、NP賞を表彰し、入賞者の喜びのスピーチを行った後、次に協議である①ハンディキャップの少ない人を救済するため、年1回は新ペリアで行うこと。②幹事の負担を軽減するため、表彰式終了時に次回の参加希望を募り、申出者については開催案内を1ヶ月前にのみ通知することを決めた。次回は5月19日開催を予定し、元気で再会することを約束し閉会した。



寄稿 日野良英